

足利市にいちごの摘み取り園を開設！ (JA 足利アグリランド株式会社)

<法人の概要>

所在地：栃木県足利市

設 立：平成 22 年 8 月

資本金：1, 000 万円 売上高：2, 117 万円（平成 26 年）

（うち農業：1, 713 万円、うち農業関連事業：404 万円）

役 員：5 名（うち農作業従事 1 名）

従業員数：1 名、うち農業従事者 1 名（その他パート職員 4～8 名程度）

経営面積：0. 48ha 営農作物：いちご

農業開始時期：平成 22 年 8 月



JA 足利アグリランド いちごハウスの外観



JA 足利アグリランド 直売所

<農業参入に至った経緯・動機>

- ・ いちご発祥の地である足利市は、近隣に足利フラワーパーク等の観光地が存在し、5月の藤棚が見頃の時期には数多くの観光客が訪れる地域である。このような中、市内に「いちご摘み取り農園」がないことから、地域から農園の設置を要望されていた。そこで、JA 足利は、JA 足利アグリランド株式会社を設立し、いちご摘み取り農園を整備することにより、地域住民との交流と観光客等の誘致に努めるとともに、地場農産物の PR と地域農業の振興及び地産地消を図ることとなった。

<農業参入することを決めてから営農開始まで>

- ・ JA 足利は、農業へ参入することを決めてから、営農開始まで約 1 年の準備期間を要した。農地の確保については、地元農家から 10 年契約で賃借しており、いちご栽培用のパイプハウス及び直売所等については自前で整備している。

<営農開始から現在まで>

- ・ 栽培技術については、地域のいちご農家やJA 足利の指導員から指導を得ている。なお、いちご摘み取りについては、1月～5月に行っている。また、JA 足利が開設している市内5カ所の直売所でいちごを販売しており、季節によっては足利フラワーパークでも販売している。
- ・ 地域との関わり方としては、地元の方の雇用の場となっていることや、地元住民限定の摘み取り体験を行っている。また平成23年度から市内小学生を対象に「あぐりキッズクラブ」を開校し、摘み取り体験を行っている。

<今後の農業経営の展開方向>

- ・ 現在、ハウス19棟でいちごを栽培しているものの、実際に摘み取り体験を行っているのは全体の2～3割程度である。今後は観光バス等で多数の観光客が来てくれるよう、地域の観光資源と連携し摘み取り体験をPRしていきたい。
- ・ また、現在はいちごのみの栽培であるが、他の品目の栽培も考えている。



摘み取り用のいちごハウス内



摘み取り用のいちご